

令和5年度マイスター・ハイスクール事業 成果発表会 講評シート

学校名(滋賀県立彦根工業高等学校)

1. 取組についての評価

・外部講師を招聘したブラッシュアップ実習やプログレス実習といった新たな科目を設け、産業界で実際に起こっていることを題材にして、単に知識を学ぶだけでなく、生徒自らが創造力を発揮することを必要とするユニークな授業が各科で行われていることが高く評価される。産業界において日本の経済成長に寄与する人材は何かに突出した能力を持つ人材であるため、教育においては平均値を底上げするだけでなく、上位の能力をさらに引き上げることが必要である。ブラッシュアップ実習やプログレス実習は、全員の必修ではなく選択科目であり、意欲がある生徒の能力をさらに高められるようになっていることも評価に値する。

・マイスター・ハイスクール事業の事業目標として、生徒の学力だけでなく人間力(やるべきことをきちんとやる力、他者との協働する力、心の平静を保つ力等)を高めることを目指している。それに資する活動として、放課後の時間等を活用したカンパニー制と名付けた活動において産業界の講師の指導の下にカーボンニュートラルを体験的に学習する取り組み等を実施しており、教育方法に小さなイノベーションを沢山起こしていると言って良い。

2. 今後の課題と考えられること

・関係機関の間で自走化に向けた協議が進められていることが評価できるが、それをやりきっていただきたい。